【資料02-1】保養・保健衛生施設

【凡例】 ○※1更新（建替え）伴う　○※2防災補強・耐震確保伴う　○※3費用対効果対策を伴う　※施設所管方針
定量的評価： A:維持継続　B1:安全性改善　B2:維持継続　C:改廃検討

No.	財産分類（小）	施設名	所在地	政策優先度	定量的評価（施設一次評価）	建築年（経過年）	延床面積	配置運営形態	機能	対象利用者の範囲区分	（H30～R2年度）収入平均3年平均（千円）	支出平均3年平均（千円）	年度利用者数合計3年平均（人）	方策パターン 集約化	複合化	転用	施設規模の縮小（減築）	民間施設の活用	実施主体・管理運営主体の変更	現状維持（更新）	廃止（売却/譲渡/跡地活用）	施設情報
参考	その他（宿泊施設）	赤泊農林漁業体験宿泊施設「サンライズ城が浜」	赤泊	－	－	2000（23）	1,786	指定管理 あかどまり城が浜温泉複合	宿泊施設 温泉施設	全域 広域	67,079	66,789	23,744						○	○※2		
1	保養施設	赤泊温泉保養センター「あかどまり城が浜温泉」	赤泊	－	－	2003（20）	366	指定管理 サンライズ城が浜複合	宿泊施設 温泉施設	地域 地区									○	○※2、個	○	・日帰り温泉利用 ・宿泊者も温泉をメインに利用 ・体験宿泊施設（サンライズ城が浜）は施設性質上一体的に考えるべき。 ・温泉保養施設を単独で考えると、受付窓口の設置、従業員休憩所の確保、宿泊者の施設利用等の課題が問題となる。
2	保健衛生施設 保健センター	両津保健センター	両津		C	1981（42）	533	両津病院内 複合施設		地域 地区	0	1,500	0				○※2				○	・両津病院内を間借りしており、現在は病院が事務所として利用。 ・保健センターとしての稼働はなく、両津病院新築後に廃止予定。 ・両津地区の検診等は主に両津支所（公民館）で主に実施。
3	保健衛生施設 保健センター	佐和田保健センター	佐和田		C	1982（41）	501	佐和田SC内 複合施設	調理実習室 機能訓練室 運動指導室 研修室 事務室	全域 広域	0	0	64	○※1、△、総	○※1、△	○				○		・現在検診等にのみ使用しており、一般への貸し出しはしていない。 ・乳幼児健診（主に相川、佐和田、真野地区）、健康相談、介護保険事業等で利用。 ・健診での利用は月に1度、介護予防教室での利用は月に10回度程度。民協や健推、社協の会議等でも利用。調理室の利用はない。
4	保健衛生施設 保健センター	トキのむら元気館	新穂	－	B1	2000（23）	1,353	保健センター、活性化センター共用	会議室 ホール 調理室	全域 広域	420	7,514	2,489	総						○※2		・乳幼児健診や健康相談、介護保険事業、その他市の各種イベントのほか、市民が健康づくりのために行う活動や地域活動等での利用も多い。 ・主に金井、新穂、畑野地区の検診等を実施。 ・ほぼ毎日利用（貸館）がある。調理室の利用頻度は月5～6回ほど。
5	保健衛生施設 保健センター	畑野母子健康センター	畑野	－	C	1986（37）	699		中包括支援センター事務室 栄養指導実習室（調理） 機能訓練室 講習室	全域 広域	224	1,999	434	○※1、△、総	○※1、△	○				○※2		・中包括支援センターの事務所、健康相談や健康推進員の活動等で利用。調理室をイベント時等に利用している。 ・健康相談等での利用頻度は月1回程度。利用人数は1回約10人。現在の調理室の利用頻度は年2～3回程度。 ・検診等の利用はなく、健康相談以外では、作業場や書庫・倉庫として利用。 ・畑野地区には子育て支援センターがないため、出張型子育て支援センターの会場にしたいという声がある。
6	保健衛生施設 保健センター	羽茂保健室	羽茂	－	C	1996（27）	23		倉庫	地域 地区	0	0	0	総			○※1、※2				○	・稼働なし。 ・羽茂支所の倉庫として使用。 ・南部地区の検診等は羽茂環境改善センターで主に実施。

総延床面積	3,474
着色延床面積	1,255
削減率	36.1%